

# 指扇小だより

教育目標 **やり抜く子の育成**

かしこく やさしく たくましく あたたく

6月号 令和5年5月31日 第3号

さいたま市立指扇小学校

〒331-0078

さいたま市西区西大宮1丁目49-6

電話 048-623-0133 FAX048-624-2200

【児童数】男子440名女子425名計865名

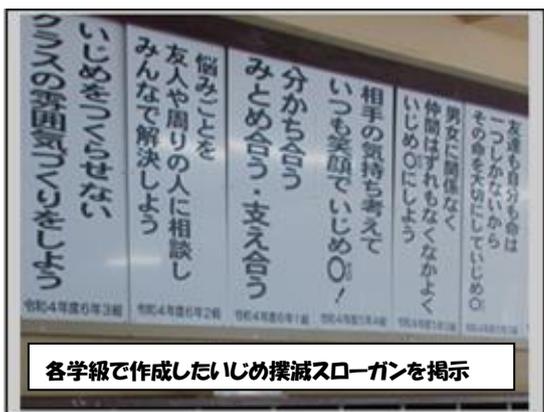
## 温かい心の貯金

## ～いじめ撲滅強化月間～

校長 引間 陽子

街道に色とりどり咲く紫陽花の美しさに、季節の移ろいを感じます。

6月は『いじめ撲滅強化月間』です。本校では、いじめへの適切かつ迅速な対応をするため、「令和5年度さいたま市立指扇小学校いじめ防止基本方針」を策定し、ホームページで周知しております。子どもたちが一人ひとり、相手を思いやることができるよう、毎年、各学級で作成したスローガンを校内に掲示し、優しい言葉や思いを伝えています。一つ一つ素敵な言葉が心を温かくします。この取組は、本校の学校経営ビジョンに示した、



教育活動の土台となるもので、安心・安全な学校づくりの大切なものの一つであります。

「心が躍る」「心が弾む」など、心に纏わる例えは様々ありますが、温かい心の貯金をしたいものだと感じます。さいたま市の詩人、宮澤章二さんの詩を紹介します。相手の心も自分の心も見えません。気持ちにもたし算、ひき算、かけ算、わり算があるように感じ、見えない心模様をお互い感じ、温かい心が沢山貯金できるよう、温かい言葉や雰囲気大切にしたいと考えます。

活動の一つでは、さいたま市教育委員会の施策の一つ「心を潤す4つの言葉」を通して、本校でも子どもたちが進んで挨拶できることを目指し推進しています。

自分一人ではできないことも相手の協力のできることに気づき、「ありがとう」が言える子どもたちを育てていきたい。友達を傷つけたとき、素直に「ごめんなさい」が言える気持ちを大切にしたい。「おはよう」「ありがとう」などの挨拶が学校いっぱい、飛び交う明るいコミュニケーションを増やし、いじめのない温かい環境づくりをいたします。

こころが傷ついたとき  
宮澤 章二

ハートはだれにも顔をみせようとしない  
はにかみやで 素直で きずつきやすくて  
それ故に だれのハートも破れやすいんだ

ハートと呼ばれる美しい生きものは  
心臓でもなく 頭脳でもなく こころなんだ  
こころっていうものは 人が生きている限り  
いのちの真ん中に咲いている花なんだよ

他人のちよとした行為でさえ 鋭く感じ  
友人のちよとした言葉さえ 深くとらえ  
自分にかわからぬ痛みで傷つくのも  
ハートが そよ風に揺れる花だから  
ハートが こころが ふと傷ついたとき  
友人の 他人の 何気ない思いやりで  
救われることがある 本当にあるんだよ

最後になりますが、6月3日は本校の開校記念日です。おかげ様で150周年を迎えます。11月25日に記念式典を予定しています。積み重ねてきた学校の歴史と伝統をお祝いするとともに「笑顔の花咲く指扇」を合言葉に学校と地域や家庭が連携し、コミュニティ・スクールの輪が広まることを願って、創立150周年記念事業実行委員の皆様と共に準備を進めております。